

留学先：Clemson University

氏名： 黒川晶平

【はじめに】

クレムソン大学での留学が始まって今月で8ヶ月が経ちました。ここでの生活も残り2週間となり、学期末特有の忙しさの中でもそろそろ留学の終わりがそばに迫ってきていることを感じているところです。今回は春休みの旅行のことを中心に報告していきたいと思います。

【Spring Break】



3月の12日から9日間の春休みがありました。当初は前回冬休みに決行した旅行と同様に長距離に渡る計画を立てていたのですが、今回は自分の行きたいところややりたいことを絞り、その達成のみを目標に定めたコンパクトな計画を立てました。渡米以前から考えていたグランドキャニオン国立公園をメインに、ラスベガスへと向かいました。

まず、ラスベガスでどうしても挑戦しておきたかったことは、スカイダイビングです。以前から一度死ぬまでにはやりたいと思っていたので、多少値段はかかりましたが迷わず申し込みました。もちろん飛び降りる前は恐怖と興奮が入り混じっていましたが、いざインストラクターと共に空に体を投げ出してみると、あとは今までに味わったことのない爽快感を体験することができました。降下中、おそらく1年分くらいは叫んでいたと思います。体験終了後、生きて地上に帰って来られたことと、願いを叶えられたことの両方でなかなか興奮を収められませんでした。

ラスベガスはカジノでとても有名な町です。各ホテルにはもちろん、空港などの至るところで楽しむことができ、世界中の旅行者を虜にしています。私も、興味本位で、50ドルだけ握りしめて有名なホテルの内部のカジノに入りました。一通り楽しんで結果的に負けてしまいましたが、思っていたよりもカジノは気軽に楽しむことのできるものだとわかりました。例えば、特別なドレスコード等はなく、ディーラーの方もルールを丁寧に教えてくれました。また一つ自分の知らなかった世界を見ることができ、大変満足でした。

そしてラスベガスの現地ツアーに参加し、1泊2日かけてユタ州やアリゾナ州近辺の国立自然公園めぐりをしてきました。これが旅の一番のメインであり、10名ほどの旅行者と共に大型のバンで広大なアメリカの荒野を走破しました。とにかく、長年の夢だったグランドキャニオンをこの目で見る事ができたので本当に嬉しかったです。それだけでなく、世界の絶景の一つであるアンテロープキャニオンやモニュメントバレーなどにも訪れました。前回の鉄道の旅とは異なり、実際に自分の足で大地を踏みしめ、大自然の素晴らしさを五感で感じる事ができたのは貴重な経験でした。今回の旅も、日程の割にはお金がかかりましたが、効率良く自分のアメリカでの目標を達成し、言葉では表せ切れないほどの感動が得られたので十分元は取れたと思っています。

【悔いのないように】



帰国まで残りわずかとなり、ここ2、3か月は以前よりも増して悔いの残らない行動を心がけるようになりました。自分の夢をかなえるために計画した旅行も然り、幼い頃にあこがれたアメリカでの野球観戦も、今しかできないと思い行動した結果、友達の助けを借りて無事に達成することができました。

心がけは遊びだけではありません。大学のクラスでは、毎週のように複数の課題をこなしていかなければならず、日本で生活していた以上に勉強しているように感じます。期末試験近づいてきて、さらに忙しさは増す一方ですが、常に自分のベストを尽くそうとしています。例えば、ペーパーを書くならなるべくアカデミックレベルを上げた文章を意識したり、プレゼンテーションがあるなら現地の学生に倣ってより流暢にかつまとまりのある内容を話すことに取り組んだり、課題一つ一つが今しか挑戦できない機会だと認識するようになりました。写真右にもありますが、長期的に携わってきた日本語学者向けのアプリケーション開発プロジェクトでは、膨大な数の語彙データを妥協なくチェックすることに尽力し、ようやく公の場でメンバーと共に発表できるまでになりました。こういった成就感を大切に、悔いのないよう最後まで生活していきます